

「あらかじめ」というのは、人が使えることばではありません。  
全能者、創造主の神様、すべてを知って、すべての計画を立てて、立てたその計画をすべて成し遂げることができる神様だけが使うことができることばです。  
その神様が私たちとともにおられます。  
それゆえ、神様が私だけに許された分だけ、それを味わうことができます。  
5月は、伝道と宣教を通して、あらかじめ征服された神様の祝福が私のもになるとメッセージを受けましょう。

## じょうろん 序論



「聖書をチェックすること」これがとても大事です。

みことばは、神様ご自身です。

イエス・キリストが受肉され、ことばが肉となってこの世に来られ、私たちのすべての問題を解決していただきました。それゆえ、聖句をチェックすることは、とても大事なのです。

日曜礼拝の講壇のメッセージの聖書箇所を、必ず聖書を開いて読んで、自分の目で確認しましょう。

5月の学院福音化のメッセージは、使徒の働き13章から19章の内容です。

7章あるので、一週間、毎日1章ずつ読んでみれば良いと思います。

使徒13章から19章は、パウロを中心とした宣教の話が記録されています。

異邦人宣教の始まりです。

13章の前にも異邦人宣教はありましたが、本格的に異邦人に向けた宣教がはじまるのが13章からです。

アンテオケ教会を通し、パウロチームを通してはじまります。

13章から19章の宣教の流れを見ると、

使徒9:15で、復活されたイエス様がパウロを選んだ理由を言われます。

「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫

の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」と言われた

異邦人 → 王たち → イスラエルの子孫 に向かって宣教がなされる

のを見ることができます。

聖書どおり、また、神様がパウロを宣教のために選んで、パウロを通して

神様がなさることが書いてあります。

これを中心に、黙想しましょう。

